



Productronica 2007 ファイナルレポート



第 17 回 国際電子部品製造機器専門見本市・会議
2007 年 11 月 13 日～11 月 16 日
ドイツ・新ミュンヘン国際見本市会場

2007 年 11 月 16 日

～Productronica 2007 成功裏に終了！業界の上向き傾向は今後も続く見通しに～

Summary

- 電子部品製造機器業界全体が上向き傾向に - 最新技術・製品が集結
- 出展社・来場者ともにますます、国際性が豊かに
- マイクロ製造、太陽光発電、有機エレクトロニクスなどの成長分野も高評価
- 意思決定権を持つ来場者の割合が大幅に増加 - 多くの商談が成立
- ハイライトの一つ「Executive Round Table」も大盛況のうちに終了 - 業界をリードする企業の経営陣が講演



Facts & Data

会 期	2007 年 11 月 13 日(火)～16 日(金) 午前 9 時～午後 6 時(最終日のみ午後 5 時まで)
会 場	ドイツ・新ミュンヘン国際見本市会場
主 催	ミュンヘン見本市会社 (Messe München GmbH)
規 模	全 10 ホール 約 110,000 m ²
出 展 企 業	35 ヶ国から 1,484 社 (2005 年:31 ヶ国から 1,508 社)
来 場 者 総 数	40,000 人以上 - 45%はドイツ国外から (2005 年:98 ヶ国から 43,113 人)
専 門 分 野	コンピューター技術、製造オートメーション、測定・調整、制御技術、エレクトロニクス、電子工学
主 な 出 展 品	半導体・ディスプレイ・光電池製造、材料加工、生産管理・物流技術、コイル製品、ケーブル加工技術、プリント基板・回路基材製造技術、部品実装技術、はんだ付け技術、製品最終加工、検査・測定技術、品質保証、各種オペレーティング機器、製造サブシステム、原材料、サービス、受託製造サービス (EMS)、MicroNanoWorld
出展日系企業 (50 音順)	<日本登録>アイパルス(株)、(株)アンベ エスエムティ、InSense Technology Co. Ltd.、(株)オーディオテクニカ、カートン光学(株)、(株)カイジョー、(株)喜多製作所、(株)サワーコーポレーション、(株)シーティーケイ、(株)ジャパンユニックス、ショーダテクトロン(株)、千住金属工業(株)、タカヤ(株)、(株)タムラ製作所、デンオン機器(株)、(株)電波新聞社、(株)ニックス、(株)日本ゲンマ、(株)日本スペリア社、伯東(株)、白光(株)、日置電機(株)、マイクロクラフト(株)、リーダー電子(株)、(株)レヨーン工業 ほか <現地法人登録>Almit GmbH、Anritsu GmbH、Daiichi Jitsugyo Co. Ltd、DISCO HI-TEC EUROPE GmbH、Fuji Machine Mfg. (Europe) GmbH、Hamamatsu Photonics

	Deutschland GmbH、Hirox Europe Ltd.、Hitachi Chemical Europe GmbH、Hitachi Europe GmbH、Hitachi High-Technologies Europe GmbH、Itochu Systech GmbH、IWAKI Europe GmbH、Juki Automation Systems AG、Keyence Deutschland GmbH、Kitagawa GmbH、Koki Europe A/S、MEC EUROPE nv、MISUMI EUROPA GMBH、MITSUBISHI ELECTRIC EUROPE BV、Mitutoyo Messgeräte GmbH、Miyachi Europe GmbH、NAMICS Europe GmbH、NIKON GmbH Mikroskope/Optische Messtechnik、NIPPON THOMPSON EUROPE B.V.、Nittoku Engineering Co., Ltd、Olympus Deutschland GmbH、Omron Electronics GmbH、Panasonic Factory Solutions Europe (PIE)、SAKI Europe GmbH、Seika Sangyo GmbH、Seiko Instruments GmbH NanoTechnology、SONY Manufacturing Systems Europe、THK GmbH、UBE Europe GmbH、Union Tool Europe S.A.、Yamauchi Corp. N.V. ほか
専用 URL	www.productronica.com (英語 / ドイツ語)

最新のエレクトロニクス製造技術が一堂に会する業界屈指のリーディングメッセ Productronica が 11 月 13 日から 16 日まで、ドイツ・新ミュンヘン国際見本市会場で開催された。業界をリードするグローバル企業など、35 国から 1,484 社が出展し、最新技術・製品を紹介した。



出展社の 40% (2005 年は 38%)、来場者の 45% (2005 年は 41%) がドイツ国外からと、前回より国際色豊かになり、エレクトロニクス製造機器業界を世界的にリードする専門見本市としてのプレゼンスをさらに強調した。DEK International 社 Global Marcom Director の Karen Moore-Watts 氏は、「今年の Productronica では、今まで以上に世界各国の専門家とコンタクトを持つことができた」と話している。また Agilent Technologies Sales & Services GmbH & Co. KG 社 Managing Director and Sales Manager at EMG の Hans-Jürgen Bochtler 氏は「私たちにとって Productronica は、エレクトロニクス製造に関する最も重要な国際見本市だ」と話している。

交通機関のストライキ及び予想外の大雪によりドイツ国内からの来場者の若干の減少により、4 日間の総来場者数は 40,000 人強と前回を下回ったものの、ドイツ国外からの来場者が増加したこと(特に、日本、ブラジル、ポーランド、チェコなどから)、来場事前登録者が前回より 15% 増加したことから、Productronica への関心の高さが年々高まっていることは明らかだ。

エレクトロニクス製造業界全体が好調なのは、出展社、来場者からの声だけではなく、業界団体である VDMA や ZVEI の市場調査からも裏付けられている。例えば、VDMA によるとドイツのエレクトロニクス製造装置分野だけでも、来年の販売伸び率は 2 桁に上ると予測されている。また ZVEI によると、2008 年の電子部品のグローバル市場は、6% 成長し 4100 億 US ドルになると予測されていて、これがエレクトロニクス製造のための設備やシステム業界にプラスの影響があると見られている。

来場者の多くも Productronica 2007 を高評価している。来場者の 95% が業界を網羅した出展範囲に対して、93% がマーケットリーダーが出展していることに対して、90% が国際色豊かな出展社に対して、非常に優れているまたは優れていると評価している。

今回は、マイクロ製造、太陽光発電、そして有機エレクトロニクスに焦点が当てられたが、どれも非常に大盛況だった。さらに、それらの分野において Productronica のポートフォリオは半導体、ディスプレイ及び回路基盤製造技術から、材料加工、実装技術、最終加工及び検査・測定・品質管理にまで及んだ。これにより、Productronica が包括的なエレクトロニクス製造の付加価値連鎖を映し出しているといえ、このような見本市は世界中他にはないと言えるだろう。Komax AG 社 Vice President Sales / Marketing の

Josef Zumstein 氏からは、「Productronica は当社にとって最も重要な見本市で、この業界でこれ以上のイベントはない」との評価をもらっている。

また、来場者の質について、出展社の 86%から非常に優れているまたは優れていると高く評価された。Marsilli & Co. S.p.A.社 Area Sales manager の Giampiero Pari 氏は、「今回は具体的な要望を持った専門家の来場が非常に多かった。グローバル企業として当社はアメリカや中国でも見本市に出展しているが、製品をグローバルなマーケットに紹介する場としては Productronica が最適なプラットフォームだと考えている」と話している。また、Universal Instruments GmbH 社 European Marketing Manager の Kim Sauer 氏は、「今回は会期中に多くの商談を成立させることができた。非常に喜ばしいことだ」と、出展効果の高さを語っている。

初日に開催された **Productronica 2007 Executive Round Table** も大盛況となった。ここでは、業界をリードする企業のトップが、中国、インド、東欧諸国そして今後成長が期待される市場におけるエレクトロニクス製造業界の、非常に多様な課題やビジネスチャンスについての議論を交わした。議論の結果は以下の通りである。

- ・ 中国はこれまで同様に生産国として、またビジネスチャンスを秘めた市場として重要な役割を果たしていこう。
- ・ インドは今のところまだ中国と比較すると発達途上の段階ではあるが、近い将来、ソフトウェア開発とエレクトロニクス製造拠点また市場として大きく飛躍するだろう。
- ・ 東欧諸国は量という面では大きな成長は期待できないが、地理的面から優位性がある。



出展・来場の両者とも、しばらく好調なビジネス環境が続くと予測している。出展社の 85%、来場者の 83%が今後の成長について非常に良いまたは良いと判断している。

次回、Productronica 2009 は 2009 年 11 月 10 日～13 日に開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページwww.productronica.comまで。

次回予告

- | | | |
|--|--|-----------------|
| 「electronica & Productronica China 2008」 | 2008 年 3 月 18 日～20 日 | (於: 上海、中国) |
| | www.electronicachina.com | (英語 / 中国語) |
| 「electronicIndia 2008」 | 2008 年 9 月 2 日～5 日 | (於: バンガロール、インド) |
| | www.electronicIndia.net | (英語 / ドイツ語) |
| 「electronica 2008」 | 2008 年 11 月 11 日～14 日 | (於: ミュンヘン、ドイツ) |
| | www.electronica.de | (英語 / ドイツ語) |

資料請求、出展申込み、入場券購入、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2-4 三番町 KSビル 5F 在日ドイツ商工会議所内

Tel.: 03-5276-3508 Fax: 03-5276-3509 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.com (英語 / ドイツ語)